

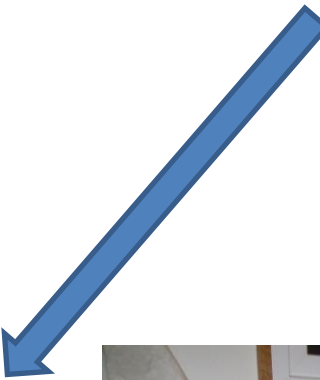
飯綱杜の家族居住3年経過

2017年4月6日作成

1年後の共通室



あり合わせの靴箱と介護補助で取り付けした玄関手すり



折り畳み机と吸音の工夫

花台と小型パネルヒーター



前玄関の取り付け 2016年5月



2年目 大きな変化が起こる

- 冬季の運動不足もあってB宅の94歳の母、体力が衰えて歩行が困難になりはじめ地域のケアマネジャーに相談、bedの手すり、歩行器など購入。デイサービスに行くなどを開始。
- 6月末に崩れるように倒れ、病院に連れていく。心臓の心拍数がどんどん下がりにICUに、そこで治療用ペースメーカーを挿入。
- 直後から急激に回復、1か月後にはペースメーカー(15年程度の寿命)を入れるかどうか、担当医、親族とも話し合って挿入を決定。8月中旬には退院。

気に入った特定施設入居者生活介護事業所を見つける

- 内容、雰囲気が入りに入り、母も同意のうえ入所予約
- 運よく2回の連絡により、入所を決定
- 母が入りに入るか心配も1週間もたたず、なじんできて安心。
- 週2回から1.5回程度の面会を通じて相性が大切と理解する
- クリスマス、誕生会、正月など自宅での生活では省略しがちな行事、日常的な対話などが健康につながり、杖なしで自立歩行まで回復。

3年目の杜の家族 2017年1月17日



2年目の冬は暖冬で雪は少なかった。

3年目は穏やかな元旦から3日後、一転大雪が3日間続き、その後も断続的に降り続ける。

杜の家族南面周回通路から 

杜の家族西面の駐車場 



大雪の除雪

小型除雪機では無力に近い！！



近隣に依頼したローリー車の威力で絶大、周回通路の除雪を行う



3年目に入って

- 2年目には、いろいろなことが起こった。
- 各世帯ともそれぞれ問題を抱え、最低月1回の食事会ができなく会話も少なくなった。
- 共通事経費の支払いができなく、かつ入居前の約束ごとがあやふやになってきた。
- 3年目に入って、基本合意を再確認する文章を作ってみる。

3年目の共通室

花台を外してテスリを取り付ける。ほか注文家具の靴箱も設置



基本5項目

1. 土地はXが提供して、各世帯は杜の家族の建物を共有する。
2. 一世代限りの居住権であることを共通理解とする。
3. 杜の家族を維持するため維持費は、暖房ほか共通費とは別にして積み立てる。
4. 各世帯の一人が欠けてもその世帯が終わるまで杜の家族に居住する権利はある。
5. 杜の家族の共有は築後複数年にわたり、Y、Z夫婦から持ち分を分割してXに贈与する手続きを税理士らが行う。

現状と今後ー1

- 5原則を確認し合ってすっきりする。
- 互いに積極的に声を掛け合うようになってくる。
- 杜の家族の隣にある実験棟では、近隣有志が助け合いの「山ぼうしの会」を4月4日から始まる。まずは声掛けをして基本メニューの話し合い、昼食、ストレッチ、カラオケなどから500円/1回で・・・

現状と今後－2

- 6月以降から贈与の手続きを始める。どの程度の年数になるかはこれら・・・
- Xに係る相続等の煩らわしさは解消、しかし社の家族が永く使い続けるのは、もう一工夫が必要
- 5原則の継続の維持と現世代後の引き続きを円滑に進める仕組みの構築

現状と今後－3

- 3年目を迎えて、杜の家族は次の段階へ。
- JR長野駅から車で25分、15km離れている
海拔1200mの居住地。若い世代が住み着いてくるが、3世代住む家は少なく、高齢世代が増えている
- 多くは自然環境に満足して暮らしている。
移動手段の車の運転は遠からず限界、どうするか

飯綱版コレクティブハウス

- 杜の家族は進行中！！
- 飯綱版コレクティブハウスの仲間を増やす！！
- 50、60代の仲間に声をかけよう、そして彼らがじっくり話し合いコレクティブハウスを構築をすることが必要。
- 併せて、県内、県外の人に飯綱高原の素晴らしさ、コレクティブハウスに関心をもってもらおう。

ご関心があります方は、CARNA事業部
か(一社)住環協へご連絡ください。

甲信鋼業(株)カルナ事業部 担当宮下

Email miyashita.2015@k-koushin.co.jp

(一社)住環協(山下研究室内)

〒380-0928 長野市若里4-5-6

Email yamalab@angel.ocn.ne.jp